

若浜の子ども



令和5年5月25日 第2号

「自分たち」で創る 学校文化と秩序！ 自分の気持ちをことばやあいさつで伝えよう

先日、地域の皆さんとの情報交換の会で、若浜の子たちの今年度になってからのがんばりや向上点があげられました。本校の子どもたちのがんばりをほめ目線で見守ってくださっていることに感謝しているところです。

- ・ 登校の時の上級生が下級生をめんどう見る姿が素晴らしい。
- ・ 横断の仕方など、登校の仕方が上手になってきている。
- ・ 相手の目を見て、あいさつしている。
- ・ スポ少の練習に行く途中など、会った時に気持ちよいあいさつをしている。
- ・ 公園でごみ拾いしている子を見かけた。

校内生活でも、時間に合わせて行動したり、目的意識を持って活動したりなど、多くのが
がんばりが見られるとともに、秩序のある暮らし
しぶりが多くなってきています。

そのような意識の土台には、「こんな学校
にしたい」「こんな人になりたい」「こんな若
浜地区・酒田になるといいな」という願いが
あり、その思いをきちんと相手に伝え、表し
ているからだと感じています。



↑ JRC 開始式で、自分の豊富を述べる6年生。
↓「あなたのことに気づいてますよ」という気持ち
を表す、遠くからのあいさつ。



1年生を迎える手作りプレゼントを届ける
6年生（右）ともらって笑顔になる1年生。



競技力と心がけで勝ち取った 市陸上記録会

4年ぶりに開催された酒田市小学校陸上記録会。主催側も出場側も、4年間のギャップにとまどいながらも、過去の出場イメージを思い起こしながら、全力を出し切ってきました。

本校は、それぞれの種目の最高記録を持つ児童が、代表として全ての種目にフルエントリーしました。練習開始の時から、「コロナのために出場のチャンスを無くして

しまった3つ上の先輩の分までがんばろう」「種目の競技力だけでなく、よきマナーなどの心がけでも競い合おう」という気持ちで努力を積み重ねてきました。

大会当日は、バスに乗る時や他校の選手とのあいさつの交わし合い、選手招集場所に出発する時の自己目標記録の発表、陣地内での応援など、「温かなことばを交わし合うほど記録が伸びる」をモットーに競い合ってきました。ほんとうに清々しく、快い態度だったと思います。おかげさまで、下記のような種目成績を修めることにつながりました。



「指導していただき、ありがとうございました」と、大会後にお礼を言う態度のすばらしさ

- ◇市で一位…男子 100m 第1位：梶原 康太郎(6) 女子走高跳第1位：小幡 美天(6)
- ◇六位入賞…5年男子 100m 第4位：佐藤 剣心 5年女子 100m 第4位：相馬 優奈
- 男子 1000m 第6位：山下 煌太郎(6) 男子走高跳第5位：伊藤 駿(6)
- 女子 100m 第4位：守屋 里緒(6) 女子走幅第5位：高橋 あおい(6)
- 女子 400mリレー第6位：鈴木亜花璃(6) 田村 彩音(6) 守屋 里緒(6) 小幡 美天(6)
- ◇400mリレーは男子も決勝進出（予選は58秒3で5位通過）
- 佐藤 倅羽(6) 吉田 晴光(6) 伊藤 駿(6) 梶原 康太郎(6)
- ◇総合学校賞…男子6位入賞 女子4位入賞

たくさんの「幸せにつながる行動」にあふれています

地域在住の方から「公園のごみを熱心に拾っている男の子たちがいるので、ほめてあげてほしい」という連絡が入りました。すばらしい行動なので、すぐに該当学年の担任を通して聞いてもらったところ、6年生の7人の男子が名のり出てくれました。

- ・お菓子の空き箱などがあったので、片づけました。
- すっきりした気持ちになりました。
- ・ごみを拾って、公園がきれいになるのがうれしかった。
- ・拾う行動をした自分のことをほめてあげたくなった。

この行動には、多くのうれしい要素が含まれていると思います。

「自発性」「公益性」「規範性」「幸福感」…この行動判断をした子たちは、今後の人生でポイ捨てなどの行為は絶対にしないでしょ。そして、将来の幸せにつながっていくのでしょ。

